

# 議会だより

にしあいづ No.123

2013.10.28

発行：西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ■ 9月議会定例会報告.....               | 2   |
| ○ 平成24年度決算を認定.....             | 2~4 |
| ○ 奥川みらい交流館を設置.....             | 5   |
| ○ 議会報告会を各地区で開催します!!.....       | 5   |
| ○ 常任委員会事務調査報告.....             | 6   |
| ■ ここが聞きたい! 一般質問12人が登壇 .....    | 7   |
| ■ 第6回議会臨時会報告.....              | 13  |
| ■ 下野尻太鼓台保存会長菊池芳則さんにインタビュー..... | 14  |

ハッスルプレーに会場大盛り上がり (高齢者・障がい者合同スポーツ大会)



# 平成24年度決算を認定

すべての会計で黒字決算



## 9月議会 定例会

平成25年9月議会定例会を9月6日から17日まで、12日間の会期で開きました。  
町から提出された議案は、平成24年度決算、条例の制定や一部改正、一般会計等補正予算、工事請負契約の締結、町特別功労表彰者の決定の同意など25件で、すべての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。  
一般質問では、12人の議員が登壇し、町の考えや対応を問いました。

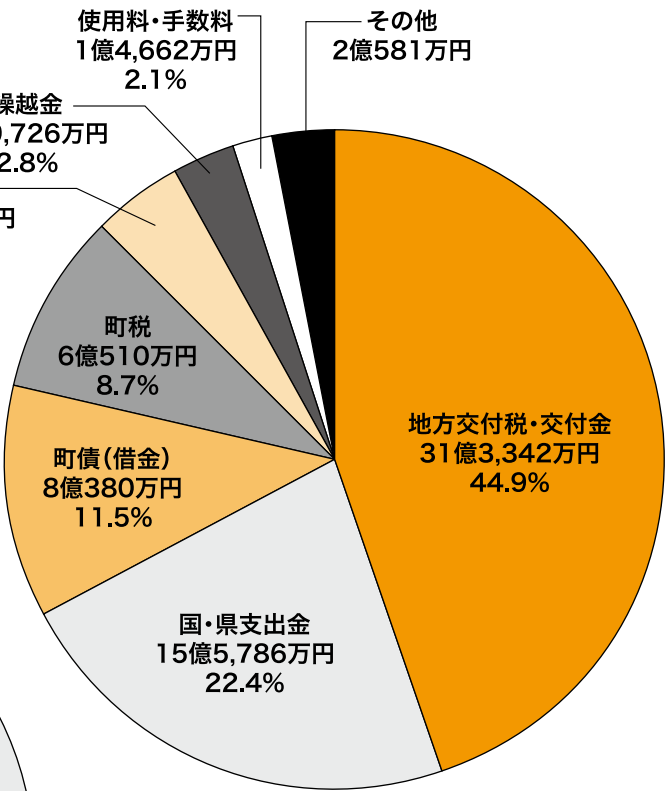
## 健全財政で負担残さず 次世代にバトンタッチ

決算額一覧表

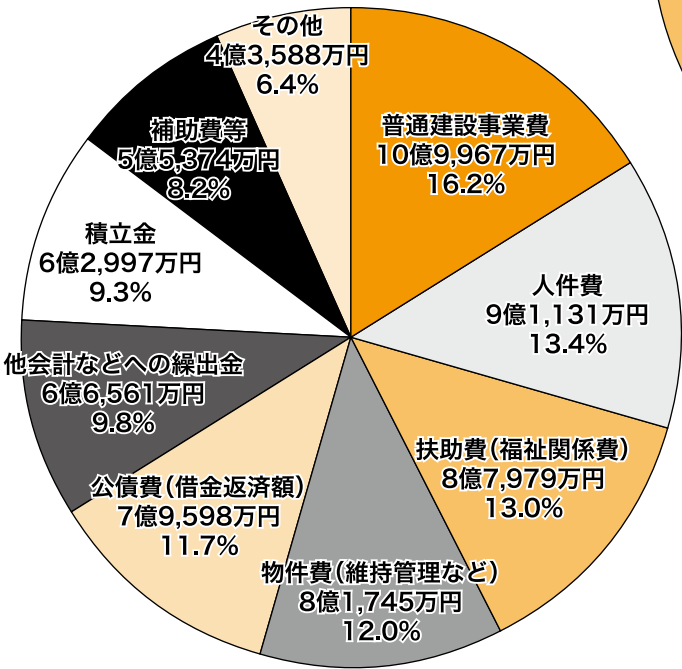
| 会 計 名                 |                     |             | 決 算 額      |            | 収入未済額<br>(税金・使用料などの滞納額) | 決算の認定<br>採決の結果 |
|-----------------------|---------------------|-------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
|                       |                     |             | 歳入(収入)     | 歳出(支出)     |                         |                |
| 一 般 会 計               |                     |             | 69億7,943万円 | 67億8,940万円 | 5,180万円                 | 全員賛成           |
| 特<br>別<br>会<br>計      | 工 業 団 地 造 成 事 業     |             | 2万円        | 0万円        | 0万円                     | //             |
|                       | 商 業 団 地 造 成 事 業     |             | 1,696万円    | 347万円      | 0万円                     | //             |
|                       | 住 宅 団 地 造 成 事 業     |             | 866万円      | 713万円      | 0万円                     | //             |
|                       | 下 水 道 施 設 事 業       |             | 2億1,467万円  | 2億1,096万円  | 91万円                    | //             |
|                       | 農 業 集 落 排 水 処 理 事 業 |             | 1億145万円    | 9,923万円    | 275万円                   | //             |
|                       | 個 別 排 水 処 理 事 業     |             | 4,838万円    | 4,527万円    | 31万円                    | //             |
|                       | 後 期 高 齢 者 医 療       |             | 1億92万円     | 1億48万円     | 0万円                     | //             |
|                       | 国 民 健 康 保 険         | 事 業 勘 定     | 10億7,397万円 | 10億2,918万円 | 3,580万円                 | //             |
|                       |                     | 診 療 施 設 勘 定 | 2億7,770万円  | 2億5,877万円  | 0万円                     |                |
|                       | 介 護 保 険             |             | 9億9,480万円  | 9億8,447万円  | 80万円                    | //             |
| 簡 易 水 道 等 事 業         |                     | 1億410万円     | 9,967万円    | 200万円      | //                      |                |
| 合 計                   |                     |             | 99億2,106万円 | 96億2,803万円 | 9,437万円                 |                |
| 本 町 財 産 区 特 別 会 計     |                     |             | 45万円       | 5万円        | 0万円                     | 全員賛成           |
|                       |                     |             |            |            |                         |                |
| 企 業 会 計 名             |                     |             | 決 算 額      |            | 水道料の滞納額                 | 決算の認定<br>採決の結果 |
|                       |                     |             | 総収益        | 総費用        |                         |                |
| 水 道 事 業 ( 収 益 的 収 支 ) |                     |             | 1億5,148万円  | 1億4,980万円  | 592万円                   | 全員賛成           |

一般会計決算の内訳

歳入総額  
69億7,943万円



歳出総額  
67億8,940万円



決算書類等の書類は、法令で定められたとおり作成されており、算出された数値も誤りはありません。また、各基金の運用及び管理についても関係諸票などと符合しており、誤りはなかった。予算の執行は、おおむね適正な執行である。

監査委員の意見

税等徴収対策本部会議を庁内に設置し、税や使用料等の徴収に努め、収入未済額は年々減少傾向にあり、前年度より56万1千円減少し1億円を下回ったが、税や使用料の徴収には引き続き努力と工夫が必要である。不納欠損額は、その処分の対象は全て各法に規定する時効に該当しており、金額に誤りはなかった。

平成24年度決算における数値あれこれ

- Q：町の借金は？  
A：112億5,086万円（前年度113億1,906万円）  
※上記金額のうち、交付税で措置される分を除いた実質負担額は48億9,413万円です。
- Q：町の貯金額（財政調整基金）は？  
A：11億8,560万円（前年度9億7,224万円）
- Q：未収金の合計額は？  
A：9,437万円（前年度1億569万円）
- Q：実質公債費比率（年度ごとの借金返済額が財政規模の何%かを示す値）は？  
A：14.4%（前年度15.3%） ※25%以上だと要注意。
- Q：将来負担率（実質的な借金等の負担が財政規模の何%かを示す値）は？  
A：106.3%（前年度118.1%） ※350%以上だと要注意。



# 決算審議 Q & A

## 三留正義議員

一般会計決算の中で、財政の構成比としては少ない方がよいとされる扶助費が約5億円増加した要因はなにか。また今後の傾向はどうか。

## 総務課長

平成24年度にかぎり、県南・会津・南会津地域給付金約4億8400万円があったことが特殊要因となっている。今後の推移は、年々社会福祉関係の経費が伸びているので、やや横ばいか少しずつ伸びる傾向にある。

## 代表監査員

早期収納体制の強化として催告状発送、電話・訪問徴収、差押えを実行している。また口座振替の推進を行うとともに、分納誓約や県税事務所との相互併任の利用、さらには税等徴収対策本部会議による一斉徴収などにより徴収に努めたことによりと考えられる。

## 長谷沼清吉議員

①収入未済額と不納欠損額が減少し好転した要因は。  
②監査意見書の中で徴税事務に関しては、法令に則り厳格かつ適正な事務処理を行うことと記載があるがその真意はどのようなものか

## 町民税務課長

①主な対策としては、

## 町民税務課長

平成23年12月1日から平成25年3月31日までの交付枚数は。

## 小柴 敬議員

軽自動車税に関して、こゆりちゃんナンバーの交付枚数は。

## 町民税務課長

平成23年12月1日から平成25年3月31日までの交付枚数は。



交付総数は新規・変更を合わせ144枚である。

## 長谷沼清吉議員

標準宅地時点修正業務委託料31万5千円の内容は

## 町民税務課長

基本的に固定資産税は3年に1回評価替えをするが、土地を1年で減価する場合はその評価で課税しなければならいため、毎年標準宅地時点修正業務をするものである。

## 荒海清隆議員

①携帯電話エリア事業整備事業とあるがエリアカバー率はどの程度になっているか。

②再生可能エネルギー事業可能性調査事業の結果は。

## 企画情報課長

①平成24年度は、弥平四郎・弥生地区に鉄塔2基を整備し、町内のカバー率は97・6パーセントとなった。

②小水力発電の可能性調査を57万6千円の事業費で、国から2分の1の補助受けて取り組んだ。その結果、弥平四郎地区であれば採算が確保できるとの報告を受けている。

## 伊藤一男議員

介護老人保健施設整備事業負担金の内容と残りの負担額はいくらか。

## 健康福祉課長

憩の森整備の償還金のうち、一部にしあいづ福祉会が立替えたものを平成23年から平成30年まで、総額5366万4640円を計画的に返還するものである。

## 猪俣常三議員

①林業総務費が前年度より7600万円ほど減額しているが主な要因は

何か。

②有害鳥獣対策事業169万8千円の内容は。

## 農林振興課長

①間伐対策事業を含め、補助率10分の10の森林整備加速化基金事業を昨年は活用したが、平成24年度からは制度が変更になったことが要因である。

②サル・クマ捕獲報奨金・ハンター保険・電柵設置補助金・有害鳥獣対策協議会補助金などである。有害鳥獣対策には他の関連事業などを合わせると町全体では1160万1千円ほど投資していることになる。

## 長谷沼清吉議員

町森林組合出資金50万円とあるが出資の内容はどのようなものか。

## 農林振興課長

国が平成21年に林業再生プランを策定し、国内産材で50パーセント賄える山の整備のために、いくつかの事業を立ち上げた。

その中には事業を受ける際に条件として、小規模な森林組合ではなく、

中核的な森林組合でなければならぬとするものもあり、町森林組合は出資金に不安があったため、組合員増資と町から平成23年度から平成25年度まで50万円を出資するものである。

## 清野佐一議員

雪室貯蔵施設使用料80万円とあるが、どのようなもので使用されているのか、また、この使用料の傾向は。

## 農林振興課長

平成24年度の使用料はここ数年になく高い金額で、利用内容は町内の酒造店や町外のソバなどである。



## 条例改正 奥川みらい交流館を設置

奥川支所のほか、公民館奥川分館、国民健康保険奥川診療所などの機能を移転する奥川みらい交流館を設置する条例を制定しました。この条例の制定に伴い、奥川支所や公民館奥川分館などの所在地が変更となるため、それらの所在地を定める町公告式条例など関係条例の一部改正を行いました。

この他、法改正に伴い議会議員の議員報酬及び費用弁償条例と町税特別措置条例の一部改正を改正しました。



奥川みらい交流館  
オープン式テープカット

## 補正予算 電気自動車購入費などを計上

一般会計は、電気自動車の購入費及び急速充電設備設置事業、屋敷地区と下安座地区の簡易水道施設整備事業や横浜市鶴見区へのアンテナシヨップ設置事業、防災情報通信設備整備事業などの経費、2億617万7千円を増額しました。

国民健康保険特別会計の事業勘定は、国保税の本算定により175万9千円を増額、施設勘定は平成24年度の繰越金の確定や西会津診療所駐車場整備工事費の計上により2249万円を増額しました。

また介護保険特別会計は、平成24年度決算が確定し繰越金の精算を行い、624万3千円を増額しました。

【質疑】  
多賀剛議員  
アンテナシヨップ設置の具体的な内容は、  
商工観光課長

消費者庁の交付金を活用し、棚倉町と共同で横

浜市鶴見区にアンテナシヨップを設置する。運営は横浜市の民間会社に委託する。

青木照夫議員  
屋敷地区の水源は井戸を掘るとのことだが、水は確実に出るのか。

建設水道課長  
地区内に30メートルの井戸を掘っている方がおり、それらを参考に今回60メートルの井戸を掘る計画であり、水は確実に出ると考えている。

## 議決議案 小学校建築工事請負契約を締結

西会津小学校の新校舎建築工事に伴う建築主体工事、電気設備工事及び機械設備工事の3つの工事請負契約の締結を議決しました。

町特別功労表彰者決定に同意  
町特別功労表彰者の決定の同意の議案が提出され、次の2人の方について同意しました。

長谷川四郎さん（出戸）  
小林貞夫さん（猪苗代町）

## 請願陳情

採択した陳情  
（敬称略）

■会津地域への自衛隊駐屯地誘致についての陳情  
陳情者 会津地方自衛隊駐屯地誘致期成同盟会代表 手代木和之

■「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情  
陳情者 全国森林環境税創設促進議員連盟会長 板垣一徳

提出した意見書

■会津地域への自衛隊駐屯地誘致に関する意見書

■「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

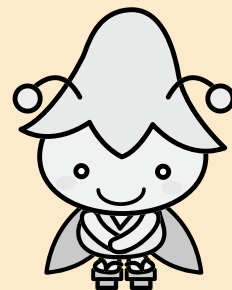
■道州制導入に断固反対する意見書

# 議会報告会を開催します!!

町議会では、より開かれた議会を実現するため、議会報告会を開催します。議員がみなさんの地区にお伺いをして議会の報告をするとともに、町民のみなさんと意見交換をしたいと思いますので、都合のいい会場にぜひお越しください。

## ■日程及び場所

|            |        |           |
|------------|--------|-----------|
| 11月 5日 (火) | 18:30～ | 奥川みらい交流館  |
| 11月 8日 (金) | 18:30～ | 新郷連絡所     |
| 11月11日 (月) | 18:30～ | 保健センター    |
| 11月14日 (木) | 18:30～ | 林業研修センター  |
| 11月15日 (金) | 18:30～ | 交流物産館よりっせ |



大勢のみなさんのお越しをお待ちしております。



**阿** 賀町において、平成14年度に、新潟県内初めての中高一貫教育を立県立阿賀黎明中学校・高等学校で導入し、平成17年度には、同じく小中連携教育を町立三川小学校・中学校で導入している。

「地域の子は、地域で育て、高校までは地元で面倒みることが阿賀黎明の存在意義」として、多様なニーズに対応した教育を目指している。

本町にとっても県立西会津高等学校の存続問題は、大きな課題であり今後も35人学級の要望や中山間地域に唯一の高等学校の必要性を強く要望し、地域に根差した特色ある学校づくりのための支援策を町全体で検討すべきと思われる。

平成27年度4月には校舎一体型小中連携教育が始まるが、目指す理念や目的が数年後に薄れることのないよう、小中一貫教育への移行も視野に入れ、協議・検討すべきと考えられる。

**旧** 奥川小学校施設は、今後、奥川支所をはじめ多くの機能を有した奥川地区の複合拠点として、地域活性化のためより効果的に、効率的に活用されるよう地域と一体となった協議や取り組みが必要であると思われる。

文化財については、来訪者のためにも、新しい文化財マップの作成や周辺環境の整備に対する支援措置についても、検討する必要がある。



## 総務常任委員会

調査実施日：平成25年7月29日、8月2日、20日

◆小中連携・中高一貫教育の現状等(新潟県阿賀町)

◆公共施設・文化財の状況等(町内)

# 常任委員会事務調査報告

## 経済常任委員会

調査実施日：平成25年7月31日、8月1日、22日

◆観光・誘客の取り組み(山形県飯豊町)

◆加工施設について(町内)

**飯**

飯豊町では将来の子どもたちと共に「ここで生まれて良かった」「ずっと住み続けた」と心から感じられる町を創りあげていくと掲げ、自然豊かな資源を活かし、農林産物の販売や食を通じたグリーンツーリズムの推進、交流機会の増加による地域の活性化に努めている。

本町も「住んでみたい、行ってみたい町」を掲げ、現在、交流人口の増大を推進しているところだが、今後、地域活性化の拠点施設として重要な役割を担う「道の駅にしあいづ」について、新たな特産品の開発や早急な商業団地の整備による付加価値の創造などにより、地域経済の活性化に寄与されることを望む。

**加**

加工研修所の所期の目的が実績として表れはじめていると考える。

加工品開発に取り組む町民の意識の高まりにより、女性の活躍の場も広がり、地域の活性化や農業所得の向上に繋がっており、評価に値するものであると考える。

今後は新たな商品開発やさらなるレベルアップを目指し、安定した販売体制が確立するよう期待する。

# 町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇

## こんな質問をしました（質問順）

### ○猪俣常三議員

- ①平成24年度の決算にあたっての評価・検証について
- ②有害鳥獣対策について
- ③西会津小学校の建築に係る内装材について

### ○渡部憲議員

- ①協働の町づくりについて
- ②空き家、空き地対策について
- ③町の今後の介護保険サービスについて

### ○伊藤一男議員

- ①2期目の町政の課題について
- ②観光親善大使起用について

### ○小柴敬議員

- ①安全、安心に暮らせる町づくりについて
- ②インフラ整備（特に、町道に架かる橋）について
- ③西会津小学校プール建設について

### ○長谷川義雄議員

- ①西会津町商業団地の整備について
- ②伊藤町政がめざす施策について

### ○多賀剛議員

- ①町長選挙結果と二期目の施政方針について
- ②所信表明について

### ○鈴木満子議員

- ①全国学力テストの県教委分析について

### ○青木照夫議員

- ①介護予防の今後の動向について
- ②道の駅について
- ③まちづくりについて

### ○荒海清隆議員

- ①伊藤町長2期目の町政を問う
- ②財政調整基金の運用について

### ○五十嵐忠比古議員

- ①デマンドバスの運行状況について
- ②伊藤町政の二期目の課題について

### ○清野佐一議員

- ①町政への取り組みについて
- ②デマンドバス運行改善について
- ③学校教育について

### ○長谷沼清吉議員

- ①先の町長選挙について
- ②第五期介護保険事業計画について
- ③自治会活動保険について

問 役場移転後の周辺土地構想は

答 公共施設用地として活用する

渡部 憲 議員

問 協働のまちづくりのひとつとして、現在の役場移転後の周辺土地構想は。また、移転先の周辺道路などのインフラ整備は。

町長

現在の役場用地は利便性の高い場所であり、公共施設用地に有効に活用していきたいと考えており、町内のみなさんの意見をお聞きしながら決定していきたい。

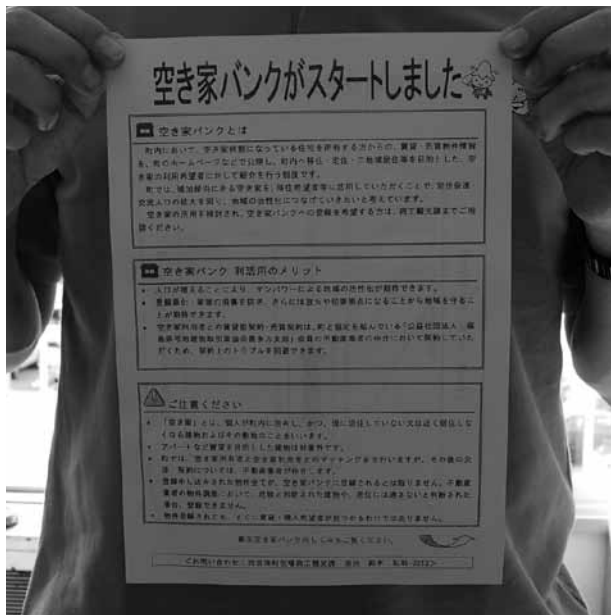
現在の役場から移転先である現西会津小学校に至る町道は、幅員が狭くすれ違いができない状況である。道路の拡幅は、平成26年からの事業着手に向け、作業を進めている。

問 空き家、空き地対策の管理体制が必要と思うが、また条例を作るべきと思うがどうか。

町民税務課長

空き家対策は、本町にとどまらず全国的な問題でもあり、老朽化した空き家を放置するケースが増加している。町では不動産の専門家と協定を締結し、空き家バンク事業

をスタートさせ、空き家の利活用の取り組みが一層推進されるものと考えている。条例の制定は、より実効性のある条例とするため、先進地などを調査し、早期制定に向けた作業を進めていく。



今後の空き家バンク事業に期待



問 二期目の町政運営にあたっての所信は

答 一期目以上に町政伸展に努める

荒海 清隆 議員

問 町長選挙で112票の僅差で当選されたが、町政運営にあたっての所信は。

町長

町内各地をくまなく歩き、本町を取り巻く厳しい現状や課題を目の当たりにして、町政に対する期待の大きさ、責任の重さを痛感した。

今後の町政運営にあたっては、一期目以上に町民のみなさんから寄せられた様々なご意見を真摯に受け止め、誠心誠意、町政伸展のために努めていく。

問 前回のマニフェストに町長報酬50パーセントカットがあったが、今回は触れていない。この件に関しての町長の考えは。



9月議会で所信を述べる伊藤町長

町長

町長報酬については、前回の選挙におけるマニフェスト、いわゆる選挙公約であったが、町政の

基本政策・理念的なものではなく、自らの政治姿勢を示したものであり、今後必要に応じ、適宜判断していく。

問 平成24年度に成果のあった事業は

答 西会津小学校新校舎整備事業などである

猪俣 常三 議員

問 平成24年度で大きな成果があったと思われる主な事業は。

町長

平成24年度の事業は、町総合計画に基づき執行してきたところであり、西会津小学校新校舎整備事業は、用地取得と敷地造成工事を実施し、大きく事業の進捗をみた。

また活力ある地域支援事業により、地域資源を活かした活性化に取り組む団体等への支援やグリーンツーリズム等への活動を通して、交流人口の拡大に努めてきた。

さらに健康づくりでは、健康増進の取り組みを積極的に進めたほか、医師4名体制を実現し医療の充実を図った。

問 有害鳥獣対策に関し、高齢化している地域住民では対応できなくな

っている。また追い払いではなく、有害駆除を専門に対応できる人材の確保等、抜本的な改革をする考えはないか。

農林振興課長

現在、町の捕獲隊員は22人で、町内全域を対象に捕獲活動をしている。新たな隊員を確保するため、町独自で狩猟免許を取得する際の一部経費補助を実施しており、今後さらに農作物の被害防止のため、捕獲体制の見直しを検討する。



有害鳥獣被害に歯止めを



問 町長報酬の減額はどのようにするのか

答 適宜判断していく

多 賀 剛 議員

治姿勢を示したものであり、必要に応じ適宜判断していく。

問 一期目の町政運営をどのように評価・検証し、二期目の町政運営はどのようにされるのか。また、今般の町長選挙の結果をどのようにとらえているのか。

一期4年間の町政運営の中で、町長自身が改めたほうが良かった、あるいはこうすればもっと良かったと思うことはあったか。

町長

一期4年間は、自然災害や原発事故により、平坦な町政運営ではなく、責任の重さを痛感した。議会と首長が相互に連携・協力して、町民本位の行政運営を行っていくことが重要であると考えている。

反省すべき点は反省しながら、これからの4年間、「みんなの声が響くまち・にしいづ」の実現に向け、対話の町政を基本に取り組んでいく。

問 4年前、目玉政策としてあれほど声高に語られた行財政改革の推進が、全く言及されていない。行財政改革はどうなったのか。また町長報酬は今後どうされるのか。

町長

行財政改革は、第15次西会津町行財政改革大綱に基づき進めている。町長報酬は、自らの政



二期目の町政運営の舵取りはどうする

問 施設整備が計画どおりに進んでいないが

答 手続に時間を要したため

長谷沼 清 吉 議員

問 民間参入による介護施設の整備が、全く計画どおりに進んでいないのはなぜか。

このことをなぜ町民に説明しないのか。

責任は誰にあるのか。

健康福祉課長

民間参入事業者が、平成26年4月の事業開始を計画していたが、介護施設建設予定地の土地購入契約や開発行為の許可申請事務等に時間を要し、計画どおりの開所が困難になった。

問 自治会活動保険は、自治区の実態とかけ離れている。

全参加者に適応する保険にすべきと思うがどうか。

総務課長

町が加入している自治会活動保険は、各自治区内に住所のある住民を対



第5期介護保険事業計画どおり福祉の充実を

象として加入している保険である。

保険内容を拡充したものを検討したが、必要のない保険内容についても

加入しなければならず、現在の自治会活動保険が一番趣旨にそったものと考えている。

問 全国学力テストの結果の分析は

答 弱点である応用力をつけさせる

問 文部科学省では、全国学力テストの結果の公表を自治体の判断に委ねることの検討を始めたが、学力をつけるという本来の目的は、序列をつけて競争させることではないと思うが。

教育課長

過度な学校間の競争や序列化を生み出すことが懸念されるような公表は、すべきではないと考える。子どもたち一人ひとりの能力に見合う学力を身につけさせるよう、個に応じた指導を取り入れた授業、よく分かる授業を展開し、本町の小中学生の弱点である応用力を身につけさせながら、学力向上に努めていく。

問 秋田県が高学力を維持した背景にあるものは何だと思うか。

教育長

鈴木 満子 議員

秋田県が高学力である背景には、各学校に教育ボランティアを配置したことも一つの要因であると考え。本町でも特別

教育支援員の他に、教職員を退職された方に学習支援ボランティアをお願いし、学力の向上に努めている。



さらなる学力向上に期待

問 高齢者介護福祉施設の充実は

答 民間事業者と連携を図る

伊藤 一男 議員

問 二期目の町政については3つの重点目標を掲げ、着実に取り組んでいるが、町長は選挙期間中、町民から意見や要望など提起されたと思うが、次の点は二期目にどのような対応していくのか。

(1) 高齢者介護福祉施設の充実。

(2) 保育所無料化と保育所整備は。

町長

(1) 現在民間事業者により整備が進められているユニット小規模多機能型入居者生活介護施設及び介護付き有料老人ホームにより、待機者の緩和が図られると考える。施設での介護ニーズは今後も増えるものと思われ、にしいづ福祉会や民間事業者と連携を図り、高齢者が安心して暮らせる町づくりを進める。



望まれる新しい保育施設の整備（野沢保育所）

(2) 保育ニーズ調査を実施し、その結果を踏まえ、基本構想を策定し早期実施に向け検討する。

問 本町では、町を全国にアピールするため、観光やイベントなどの情報を発信してきた。今後、なお一層の振興を図るためには、観光親善大使を起用してはどうか。

商工観光課長

町や他自治体の実態状況などを勘案し検討する。



**問** 中学生の海外研修を実施する考えは

**答** 将来的な取り組みとして研究していく

清 野 佐 一 議員

問 町づくりは人づくり、人づくりは教育からといわれている。  
語学力向上や国際的感性を養うためにも近い将来、中学生の海外研修も実施すべきと思うが考えはないか。

教育長

外国語教育は平成23年度から小学校5、6年生に外国語活動として教育



外国語指導助手による外国語教育

課程に位置付けられた。語学力向上、特に聞くこと、話すことは直接外国に行つて研修することが効果的といわれている。今後、将来的な取り組みとして研究していく。

問 平成20年4月より町づくり基本条例が施行された。この中には町民、行政、議会が一体となつた協働のまちづくりをすることが謳われている。

協働のまちづくりをする上で、一番大切なものは何であると考えているか。

町長

協働のまちづくりは、町民のみなさんから広く意見、要望を聞く姿勢が一番肝要であり、それは対話の町政を基本とする私の政治姿勢でもある。今後も、町民の生活向上と町政の伸展のため取り組んでいく。

**問** 電気自動車用急速充電器の利用料は  
**答** 協力金として5000円徴収する

問 道の駅にしあいづに、電気自動車用急速充電器を2基設置されるが、使用開始時期と使用料等はどのようなになるのか。

商工観光課長

急速充電器の利用開始時期は、補助金交付や充電器の納期等の状況から平成26年1月中旬頃を予定している。また料金は、協力金として5000円を徴収する考えである。

問 健康づくりに関して、日本一の健康の町をめざすとのことだが、具体的な考えは何か。

町長

子どもから働き盛りの若者、そして高齢者までの町民すべての健康増進を図るため、食と運動と検診を相互に連携しながら、町民のみなさんの健康づくりを推進していく。



電気自動車用急速充電器が設置される道の駅にしあいづ

長谷川 義雄 議員

問 介護保険制度見直しによる町への影響は

答 現段階で具体的な情報はない

問 現在、国では特別  
養護老人ホーム新規入所  
要件を要介護3以上とす  
る見直しが進められてい  
るようである。また要支  
援1、2については、介  
護保険より除外され、町  
負担となることが予想さ  
れるが、その場合の町へ  
の影響は。

健康福祉課長

特別養護老人ホームの  
入所要件の見直しは、社  
会保障制度改革国民会議  
の中で「中重度者に重点  
化を図る」と明記され、  
入所基準の議論がされて  
いるようであるが、まだ  
具体的な内容は国、県か  
らの情報がない。町とし  
ては、在宅サービスを充  
実し、西会津診療所と連  
携した訪問看護ステーシ  
ョンの拡充に取り組み、  
在宅での生活が維持でき  
るよう支援していく。

問 過疎化、高齢化が

青木 照夫 議員

進む現状で、国が進める  
コンパクトシティ構想が  
実施された場合、役場周  
辺の公共施設整備はどの  
ようになるのか。

企画情報課長

役場を中心とした町整

備は、野沢まちなか活性  
化委員会を立ち上げるこ  
とにしており、本委員会  
の意見をいただきながら、  
野沢地区の将来像を描い  
ていきたい。



施設入所は介護保険制度の見直しでどう変わる

問 AED設置に不安はないか

答 屋外設置なども検討していく

小柴 敬 議員

問 安全安心に暮らせ  
る町づくりについて問う  
(1) AEDどこに設  
置されているか。また使  
用の実績はあるのか。  
(2) 夜間でも使える  
方法はないか。

健康福祉課長

(1) 西会津中学校や  
西会津小学校の教育施設  
に6カ所、野沢保育所等  
保育施設に4カ所、役場



いつでもすぐ使えるような設置方法を

庁舎等施設に5カ所、そ  
の他2カ所の計17カ所に  
設置している。使用実績  
としては、西会津中学校  
と奥川支所で1回ずつ計  
2回使用したことがある。  
(2) 夜間時の使用に  
ついては、今後、屋外設  
置を含め検討していく。

問 西会津小学校にプ  
ールを造る考えはないか。

教育長課長

水泳の授業は、学習指  
導要領に規定されており、  
各学年、1年間に10時間

程度を夏季に実施してい  
る。町には、施設として  
十分に整っているさゆり  
公園プールがあり、この  
ことを踏まえ、総合的に  
判断した結果、校舎新築  
時には、さゆり公園プー  
ルを有効活用して水泳指  
導を行うとこととした。  
これまでの小学校適正  
配置審議会、小学校統合  
推進委員会において説明  
し、ご理解をいただいて  
いる。



**問** デマンドバスの運行状況は

**答** 利便性向上の改善を図った

五十嵐 忠比古 議員



まだまだ問題が多い？デマンドバス

**問** 本町では、昨年4月から小学校の統合にあわせ、町民バスを予約制で乗車できるデマンドバスに移行させた。運行から1年5カ月が経過したが、1日の予約状況と現状の問題点は。

町民税務課長

本年4月から8月までの利用者は1万2174人で、1日の平均が平日で104人、休日が24人である。本年度に平日

の運行便数の増便や当日の予約時間の短縮、大山まつり期間中の定時臨時バスの運行など、利便性向上のため改善を図った。

**問** 伊藤町政の一期目の4年間は、豪雪での国道の通行止めや東京電力福島第一原発事故と風評被害、新潟・福島豪雨災害など、数々の非常時対応の4年間であった。

二期目の町政を担う上で、町が抱える課題とし

て若者の定住や企業誘致、観光資源の整備はどうするのか。

商工観光課長

新たな企業の誘致は大変厳しい状況であるが、町の特色や立地状況などの情報発信を行い、誘致活動に取り組んでいく。観光資源の整備は、毎年経常的に賃金や委託料を予算計上し、施設の管理や景観の保持に努めていく。

第6回  
臨時  
議会

耐震補強でより安心安全に  
明神橋耐震補強工事請負契約を締結

8月9日に第6回議会臨時会を開会し、町から明神橋耐震補強工事請負契約の締結や除雪ドーザー等の財産の取得など4件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

明神橋耐震補強工事請負  
契約の締結

社会資本整備総合交付金の復興枠を活用し、町道にかかる明神橋の耐震補強工事を行います。

【質疑】

渡部憲議員  
工事期間中の通行止めや迂回路はどうなるのか。

建設水道課長

長期間にわたって通行止めとなるが、迂回路は阿賀川に架かる橋が限られているので、それが迂回路となる。期間は請負業者と協議しながら、短期間で終わるように調整をしていく。

【質疑】

多賀剛議員

消防ポンプ車の更新の基準は。

町民税務課長

明確な基準はないが、購入から20年が経過し、頻繁に故障が起きるようになってきたら早急に更新していく。

清野佐一議員

新しい消防ポンプ車の特徴的なものは。

町民税務課長

バックカメラや消防ポンプ車の底に保護板を新たにつけた。



荒海清隆議員  
小さい河川にかかる橋にも劣化が見られる。そういう橋を補強していくことも必要ではないか。

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、下野尻太鼓台保存会長として活躍されている菊池芳則さん（下野尻）です。

祭事は保存会で

―保存会の主な活動内容―

会員は23人で、自治区における盆踊りや秋の祭礼に行う山車、御神輿、出店などの祭事について保存会が行っています。

十分な話し合いで

―会長さんとして苦労されていることは。―

会員は自治区内の幅広い年齢層の人が集まっているので、いろいろな考えや意見があり、行事を



自治区のために奮闘 菊池芳則さん

プロフィール

住 所：下野尻（群岡）  
年 齢：61歳  
家族構成：母、妻、娘の4人家族  
趣 味：ボウリング、スキー

実施する際にその調整に苦勞する時がありますが、十分に話し合いをしながら決定し、みんなが納得した上で行事を実施することになっています。

―若者の定住促進を―  
―町議会や町に望むことは。―

若者がこの町に定住できる環境づくりを進めて欲しいと思います。それと10年後を見据えた議会であって欲しいと思います。

―ご協力ありがとうございました。今後ご活躍を期待しています。―

議会の動き

会津耶麻町村議会議長

会議員研修会に参加

9月27日に磐梯町交流館で、猪苗代町、磐梯町、北塩原村と西会津町の4町村で構成する会津耶麻町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

研修は、会津大学コンピュータ理工学部の林隆史教授を講師にお迎えし、「スマートグリッド通信とHEMS機器利活用について」というテーマで行われました。



研修では、個々の家庭において、IT技術（通信機能）を使いコミュニケーションや元気にしているかの確認（人感センサー）、さらに温度や湿度の管理、熱中症や低体温症防止、血圧対策など、健康管理への活用など、幅広い可能性の紹介がありました。

本町では、ほぼ全戸に光ケーブルが繋がれており、高齢者世帯や一人暮らしの安否確認のための人感センサーの設置など、新しいシステム作りの可能性を感じてきました。

大学教授の講義のため、難解な用語など専門的なところもありましたが、参加議員全員で一生懸命研修して来しました。

編集後記

今年も「野沢祭礼」が台風18号の直下で行われましたが、大過なく終了できたようで良かったです。

実は編集しながら、時折稲刈りに出かけるわけですが、最近、9月第一週に倒伏し「豊のような田」に入りました。そして稲摺りしたら「じゃえじゃえ」玄米が青い！の一言でした。しかし、命があり、稲刈りができ、更にいくばくかの収穫があったことに、八百万の神々に感謝しましょう。

さて、9月議会定例会が閉会しましたのでここに報告いたします。

（三留正義）

編集委員

委員長 渡部 憲  
副委員長 三留 正義  
委員 伊藤 一男  
委員 長谷川 義雄  
委員 清野 佐一

にしあいづ議会だより

No. 123

発行 福島県西会津町議会  
編集 議会広報特別委員会

〒969-4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上73261  
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp